

26年5月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 1

1. 調査実施期間 平成26年 4月20日～ 26年5月10日

2. 調査実施方法

全国の国産材製材工場に対し、アンケート調査票を送受することにより実施した。
5月分の回答企業数は21社である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight.D.I.(ウェイト・ディフュージョン・インデックス)={「増加」の評価を行った回答の割合}×2+{「やや増加」の評価を行った回答の割合}-(「減少」の評価を行った回答の割合)×2-(「やや減少」の評価を行った回答の割合)÷2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

ア. 国産材

(1) 製材用原木荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
入荷動向	スギ	15.4	△ 19.2	0.0
	ヒノキ	0.0	△ 20.0	△ 20.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 50.0	△ 25.0	0.0
消費動向	スギ	7.7	3.8	11.5
	ヒノキ	0.0	△ 10.0	△ 10.0
	カラマツ	0.0	0.0	△ 50.0
	トドマツ	0.0	0.0	0.0
在庫動向	スギ	7.7	△ 7.7	△ 7.7
	ヒノキ	10.0	0.0	△ 5.0
	カラマツ	50.0	0.0	0.0
	トドマツ	△ 25.0	△ 25.0	0.0

スギ原木の入荷は5月の増加が6月の減少を経て7月には横ばいに、ヒノキは5月の横ばいが6,7月は減少に、カラマツは横ばいで推移、トドマツは5,6月の減少が7月には横ばいに。
スギ原木の消費は増加傾向で推移、ヒノキは5月の横ばいが6,7月にはやや減に、カラマツは5,6月の横ばいが7月には減少に、トドマツは横ばいで推移。
在庫はスギ及びヒノキは5月の増加が、7月に向けやや減に、カラマツは、5月の増加が7月に向けて横ばいに、トドマツは5,6月の減少が7月には横ばいに。

(2) 製材原木価格動向 Weight. D. I.

品目	26/5月	6月	7月
スギ	9.1	△ 9.1	△ 4.5
ヒノキ	△ 44.4	△ 22.2	△ 5.6
カラマツ	0.0	0.0	0.0
トドマツ	0.0	0.0	0.0

スギ原木価格は5月のやや強保合が6,7月は、やや弱保合に、ヒノキは弱含みないし弱保合で推移するが7月には、マイナス幅大幅縮小、カラマツ及びトドマツは横ばいで推移。

モニターからのコメント

・(原木荷動き) ・カラマツ丸太は想定以上の入荷となったが、トドマツは6月以降の入荷となる予定。パレット及び梱包用の産業用途の需要は、NZ材供給が絞り込まれ需給バランスが取れており未だ忙しい状況、建築用材は全体的に閑散としているが、カラマツラミナは需要に対し供給しきれていない状況続く。トドマツ羽柄材は一服感か。カラマツ丸太は使用量以上の入荷があり在庫増。

- ・トドマツ丸太は民有林からの入荷が見込より増加し、入荷は順調も、北海道全体ではまだ不足気味か。引き合いは相変わらず強くフル生産続く。長さ毎の在庫バランスが取れてきた、夏場から材の手当に。
- ・スギ丸太の入荷は虫害季節に向かいやや減少。
- ・スギ丸太の出材少ないが、今後は出材増と予想。スギ及びヒノキとも生産動向は変わらず。
- ・スギ丸太の入荷多い、ヒノキは横ばい。スギ製材品に注力したいが季節的に貯蔵できずヒノキも製材している。工場土場に原木を置ききれない状態に。
- ・スギ、ヒノキの入荷は、旬が悪くなり、出材量は減少傾向。例年のごとく夏枯れを迎える。消費は製材数量落とさない。製材品目の多様化を更に加速させる。在庫は仕入量<製材量が続き、在庫は低水準推移。
- ・入荷では、スギ丸太も出材がようやく増え始めた。季節的理由と価格が高騰していることが原因か、ヒノキは順調に出ている。消費はスギは製品需要の落ち込みが少ないため今後も増加予定。ヒノキは注文が非常に落ちてきているため良くて横ばい。時期的に虫害等発生恐れがありスギ、ヒノキとも必要以上には買わないで、在庫が減る見込み。
- ・スギ入荷は、梅雨により出材減少、消費は変化無し。
- ・スギの入荷、出荷ともに6月梅雨のためやや動き悪いのでは？
- ・ヒノキ丸太は季節的に減少して行くが市場で売りにくいようで直送が増加。ヒノキ丸太消費も低調、市場、直送共に買いやすい状況。
- ・ヒノキ丸太入荷は梅雨期までこの流れを予想、消費は販売量と在庫見ながらコントロール。丸太が痛む時期だが徐々に在庫を増やす。
- ・スギ原木は梅雨期に入るため減少見通し。生産は落とさず、スギKD材を中心に積み増す。
- ・ヒノキ丸太の仕入れは5月は価格安いため減少、6、7月は多少値戻りするが梅雨期で減少。5~7月は製品の動き多少良くなり、製品価格は横ばいと予想。在庫は横ばい。
- ・スギ丸太は先月から順調に入荷、市場でもかなり順調に揃っている模様だが、6月以降は素材業者が国有林に入るため出材減。前月から消費減、県内の動きが鈍くなっている。6月の出材減に備え5月中に大量(原木価格) ・トドマツ丸太は高止まりの予想。 ・スギ原木は出材少なく、原木高。
- ・スギ丸太は出材量により価格変動があり、製品の引き合いにより今後の動向が注視される。
- ・ヒノキ製材品が売れないのにヒノキ4m材の造材が多い。
- ・スギは依然として強い。高止まりだが、次月以降は製品価格からの逆算で多少下がるか？
- ・ヒノキは高騰前の相場に逆戻り、これ以上は下がらないのでは、スギはジリジリ値を上げてきたが製品単価が上がらないため、買い疲れ気味、多少落ち着くのでは・・・。
- ・スギは、梅雨時期による出荷材減少でやや上昇。
- ・ヒノキ丸太は梅雨明けくらいから無いもの高になるか？。 ・ヒノキ丸太は、岡山県北部ではもう少し下げ、九州・四国は底と思う。 ・ヒノキ丸太は出荷減少、売り・買いのバランスで多少値上がり予想。
- ・スギ丸太は落ち着いている、中目で13,000円/m3くらい。

26年5月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 2

(3) 製材品荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
生産動向	スギ	7.7	3.8	0.0
	ヒノキ	5.0	△ 5.0	△ 10.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	△ 25.0
出荷動向	スギ	△ 26.9	△ 30.8	△ 11.5
	ヒノキ	△ 45.0	△ 35.0	△ 35.0
	カラマツ	0.0	0.0	0.0
	トドマツ	0.0	0.0	△ 50.0
在庫動向	スギ	33.3	29.2	20.8
	ヒノキ	55.0	40.0	35.0
	カラマツ	△ 50.0	△ 50.0	△ 50.0
	トドマツ	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0

スギ製材品の生産は5,6月のやや増が7月には横ばいに、ヒノキは5月のやや増が6,7月にはやや減に、カラマツは横ばいで推移、トドマツは5,6月の横ばいが7月には減少に。

スギ及びヒノキ製材品の出荷は減少傾向で推移、カラマツは横ばいで推移、トドマツは5,6月の横ばいが7月には減少に。

スギ及びヒノキ製材品の在庫は増加傾向で推移、カラマツ及びトドマツは減少傾向で推移。

(4) 製材品出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
スギ	柱角 KD10.5×3	△ 34.6	△ 34.6	△ 19.2
	柱角 KD12×3	△ 29.2	△ 33.3	△ 8.3
	通し柱 12×6	△ 20.0	△ 20.0	△ 15.0
	桁角	△ 10.0	△ 10.0	△ 10.0
	母屋角	△ 25.0	△ 20.0	△ 15.0
	タルキ	△ 20.0	△ 20.0	△ 5.0
	間柱	△ 33.3	△ 33.3	△ 12.5
	ヌキ	△ 15.0	△ 15.0	△ 10.0
	平割	△ 15.0	△ 15.0	△ 10.0
	ラミナ	△ 12.5	△ 25.0	△ 25.0
ヒノキ	柱角 KD10.5×3	△ 50.0	△ 27.8	△ 27.8
	柱角 KD12×3	△ 50.0	△ 38.9	△ 27.8
	土台角 10.5×4	△ 50.0	△ 35.0	△ 25.0
	土台角 12×4	△ 50.0	△ 40.0	△ 40.0
	通し柱 12×6	△ 33.3	△ 25.0	△ 33.3
	ラミナ	0.0	△ 25.0	△ 37.5
カラマツ土台角10.5×4	—	—	—	
〃 梱包仕組み板	0.0	0.0	0.0	
〃 ラミナ	0.0	0.0	0.0	
トドマツサンギ	0.0	0.0	0.0	

スギ製材品の価格は総じて、弱保合で推移。

ヒノキ製材品の価格はラミナを除き、全体としてスギ製材品より更に、弱含みないし弱保合で推移、ラミナは5月の保合が、6,7月には弱保合に。

カラマツ梱包仕組み板及びラミナ並びにトドマツサンギは共に横ばいで推移。

モニターからのコメント

(製材品荷動き) ・トドマツ製材品は引き続きフル生産。出荷も相変わらず好調、建築材不調もサンギの引き合いは強く、在庫ゼロの状態続く。 ・スギ製材品は売れ行き悪く在庫増。
 ・スギ及びヒノキ製材品の生産は変わらず、ヒノキは一時的に出荷落ちるが、今後は回復すると予想するが?。
 ・原木の出材に応じた製材を行わざるを得ず、川下の需要に対応できないため苦心している。
 ・スギ、ヒノキ共に構造材の荷動きが悪い、特にヒノキは全く停滞気味。ヒノキ製品の在庫過多、3m材はそれほどでもないが、4m材は在庫積み上げ状態。
 ・生産は製材数量は落とさない。出荷は今月はまだ動く方では?6~7月がもっと荷動きが悪いと予想する。在庫はGRNラミナ等は増える見通しだが、低水準からの回復ゆえ問題はない。KD製品の在庫はさほど変わらないとみる。
 ・生産は、消費動向と同じ秋に大型の公共工事の物件を受注しているためスギについては次第に増やしていく。出荷は、ヒノキの注文が特に減少、スギも一時の勢いはない。生産を増やしているため在庫はスギ、ヒノキとも増加、特にヒノキは空っぽになっていた倉庫がまた一杯になりつつある。
 ・出荷は、季節的なものと増税後など外的要因でやや減少。
 ・ヒノキ製材品の販売はたいしたことないが生産は通常どおり、5,6月は大きな変化ないと思うが7月から徐々に回復を期待。秋需に備え在庫増やす予定。
 ・ヒノキ製材品は7月頃販売が落ち込むと予想、製材品で在庫を増やす予定。
 ・ヒノキ製材品は通常通りの生産、生産しただけは販売、在庫はやや増加。
 ・4月に入りヒノキ土台、柱角の荷動き極端に悪くなり、荷物もだぶつき気味。
 ・スギ製材品は今月の荷動思わしくないが、大型物件等の注文が入っており生産はそれほど落ちない。県外出荷はいつも通り順調も、県内出荷は例年の半分以下の状況 在庫はある程度増やしている

- (製材品出荷価格動向) ・トドマツサンギは、当面は横ばいか。夏以降の丸太価格次第。
- ・原木高に支えられ、スギ製材品は下がりづらいが、現状でも少し採算割れのところもある。
 - ・スギKD材は何とか5万円台を維持できそう。建築用ではなく梱包材需要で価格が維持できている様子。ヒノキKD3mは値段を下げれば売れるかもという状態、4m材は値段でなく需要がなくなっている様子で全く底が見えない。
 - ・スギ柱角は調整局面、羽柄材はそれほど下がらないが、ジリジリとした展開。ヒノキ価格は十分下がった。原価的にも限界にきており、これ以上の値下げは難しい。
 - ・スギの梁、桁については丸太高騰につき多少値上げした、その他も比較的順調。ヒノキは4月に続き大きく値を下げた。元に戻ったのでしばらくは横ばいか。
 - ・スギ柱は消費が減少動向でやや下落。・ヒノキ製材品はほぼ横ばいも、グレードによっては下げ。
 - ・ヒノキ土台角も多少買い気有り。
 - ・スギ製材品の価格は2月値上げして以来変わらず。

26年5月分 製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 3

イ. 外材

(1) 製材用原木の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
仕入動向	米マツ丸太	△ 25.0	0.0	0.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
消費動向	米マツ丸太	△ 75.0	0.0	25.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—
在庫動向	米マツ丸太	25.0	0.0	△ 25.0
	NZラジアータ	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ丸太	—	—	—
	北洋アカマツ原板	—	—	—

米マツ丸太の仕入れは5月の減少が6,7月は横ばいに。
NZラジアータ丸太の仕入れは横ばいで推移。

米マツ丸太の消費は5月の減少が7月に向けて増加に。
NZラジアータ丸太の消費は横ばいで推移。

米マツ丸太の在庫は5月の増加が7月に向け減少に。
NZラジアータ丸太の在庫は横ばいで推移。

(2) 製材用原木等購入価格動向 Weight. D. I.

品目	26/5月	6月	7月
米マツ丸太	△ 50.0	△ 50.0	0.0
NZラジアータ丸太	50.0	50.0	50.0
北洋エゾマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ丸太	—	—	—
北洋アカマツ原板	—	—	—

米マツ原木の価格は5,6月の弱含みが7月には保合に。
NZラジアータ丸太の価格は強含みで推移。

モニターからのコメント

(原木荷動) ・NZ材は、4月以降受注も一服状態で、原木荷動き、製材品荷動及び製品価格共に横ばいも、丸太価格はやや上昇。

(原木価格動向)

- ・
- ・
- ・
- ・

26年5月分

製材工場の荷動き・価格先行き動向調査 4

(3) 製材品の荷動き動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
生産動向	米マツ製材品	△ 50.0	0.0	25.0
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
出荷動向	米マツ製材品	0.0	0.0	25.0
	NZラジアータ製材品	0.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—
在庫動向	米マツ製材品	△ 25.0	△ 25.0	△ 25.0
	NZラジアータ製材品	50.0	0.0	0.0
	北洋エゾマツ製材品	—	—	—
	北洋アカマツ製材品	—	—	—

米マツ製材品の生産は5月の減少が7月に向け増加に。
NZラジアータ製材品の生産は横ばいで推移。

米マツ製材品の出荷は5,6月の横ばいが7月には増加に。
NZラジアータ製材品の出荷は横ばいで推移。

米マツ製材品の在庫は減少傾向で推移。
NZラジアータ製材品の在庫は5月の増加が6,7月は横ばいに。

(4) 製材品の出荷価格動向 Weight. D. I.

品目		26/5月	6月	7月
米マツ平角		0.0	0.0	0.0
米マツ正角		△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0
米マツ小割		△ 50.0	△ 25.0	△ 25.0
北洋エゾマツタルキ		—	—	—
北洋アカマツタルキ		—	—	—
NZ梱包材(割板)		0.0	0.0	0.0
NZ梱包材(割角)		0.0	0.0	0.0
NZ土木用材		0.0	0.0	0.0
その他		—	—	—

米マツ平角の価格は横ばいで推移、同正角及び同小割は弱含み、ないし弱保合で推移。

NZ梱包材及び土木用材の価格は横ばいで推移。

モニターからのコメント

(製材品荷動き)

- ・
- ・
- ・
- ・

(製材品出荷価格動向)

- ・
- ・
- ・
- ・